

平成27年度 公共事業再評価調査

1. 再評価調査

(区分) (国補)・県単

事業名	治水事業 [ 基幹河川改修事業 (国補) ]		事業箇所	中央市今福～甲府市堀之内町	地区名	鎌田川	事業主体	山梨県												
	当初計画	現計画	今回見直し予定																	
計画期間	H2年～H25年	H2年～H38年	-																	
総事業費	12,400百万円	30,399百万円	-																	
<b>(1) 事業の概要</b>				<b>再評価時の評価状況</b>																
<p><b>事業目的及び効果</b></p> <p>甲府市及び中央市を流れる鎌田川は、計画流量290m<sup>3</sup>/sに対し最小断面では現況流下能力が約80m<sup>3</sup>/s (約30%) しかなく、台風や集中豪雨時には狭小断面区間でほぼ満水状態になり、堤防が決壊する恐れのある非常に危険な状況である。このため、流下能力の拡大に重点をおいた河床掘削、築堤及び護岸工事を行うことにより治水安全度の向上を図り、氾濫を防止する事を目的とする。</p> <p><b>事業概要</b></p> <p>50年に1度の割合で発生する洪水を、河道で安全に流下するための改修を進める。</p> <p>全体計画施工延長 L = 6,900m 計画流量 290m<sup>3</sup>/s (最下流部) 治水安全度 1/50</p> <p><b>現計画の全体計画 (今回の再評価で変更する前の内容)</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成26年度まで</th> <th>平成27年度 (評価実施年度)</th> <th>平成28年度以降</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>工事内容</td> <td>築堤: 3,300m 護岸: 2,440m 道路橋: 4橋 樋門・樋管: 4基 床止: 1基 用地補償: 1式 測量設計: 1式</td> <td>鉄道橋: 1橋</td> <td>築堤: 3,600m 護岸: 4,710m 道路橋: 3橋 樋門・樋管: 7基 床止: 5基 用地補償: 1式</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>21,079百万円</td> <td>543百万円</td> <td>8,777百万円</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>特記事項</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>昭和57年8月1日 (台風11号) の影響により約120ha浸水 [ 時間最大雨量: 14.5mm, 24時間最大雨量: 127.5mm ]</li> <li>昭和58年8月16日 (台風5号・6号) の影響により約150ha浸水, 浸水家屋棟数20棟 [ 時間最大雨量: 28.0mm, 24時間最大雨量: 192.0mm ]</li> <li>平成12年9月12日 (秋雨前線) の影響により、鎌田川流域関係市町村 (旧玉穂町, 昭和町, 旧田富町) にて浸水面積約10ha, 被災家屋数36棟 (内床上浸水2棟), 資産被害額4,300万円 [ 時間最大雨量: 24.0mm, 24時間最大雨量: 294.5mm ] 浸水被害: 水害統計より</li> <li>鎌田川の流下可能な流量: Q=80m<sup>3</sup>/s (JR身延線地点)</li> </ul>					平成26年度まで	平成27年度 (評価実施年度)	平成28年度以降	工事内容	築堤: 3,300m 護岸: 2,440m 道路橋: 4橋 樋門・樋管: 4基 床止: 1基 用地補償: 1式 測量設計: 1式	鉄道橋: 1橋	築堤: 3,600m 護岸: 4,710m 道路橋: 3橋 樋門・樋管: 7基 床止: 5基 用地補償: 1式	事業費	21,079百万円	543百万円	8,777百万円	<p>(平成22年度再評価) この事業は、中央市今福から甲府市堀之内町における鎌田川の河川改修工事であり、当該区間の計画流量290～150m<sup>3</sup>/secに対し、現況流下能力が約30%程度しかないことから、台風や集中豪雨時には狭小断面区間の堤防が決壊する恐れがあるため、河道拡幅により氾濫防止を目的としている。</p> <p>当初計画では、平成25年度を完成年度として事業を進めていたが、計画区内にあるJR今川橋梁の架け替えについて、国土交通省、JR、県の三者により、計画地内にある移転施設の移設方法の選定や、同橋梁の移設工法について、列車運行への影響を最小限に抑える工法の選定等にも時間を要し、さらにはこの工法採用及び残土処理費等の工事費の増加が見込まれることとなった。このため、本事業計画の見直し案では事業期間を13年間延長、総事業費を6,440百万円増加する案である。</p> <p>本事業は、現況の流下能力が不足している河川を改修し、治水安全度を高め、沿川地区の洪水被害を防止し、良好な都市基盤の安全を図る上で必要な事業と評価でき、またそれだけに当該流域において早期の事業効果の発現が求められる。よって、今後は、提案のあったとおり、残区間を2工区に分割し、当面は、JR橋梁を含む1工区を平成30年度までに完成させ、その後、時間及び工程管理を徹底し、平成38年度までに全区間の完成に努められたい。</p>				
	平成26年度まで	平成27年度 (評価実施年度)	平成28年度以降																	
工事内容	築堤: 3,300m 護岸: 2,440m 道路橋: 4橋 樋門・樋管: 4基 床止: 1基 用地補償: 1式 測量設計: 1式	鉄道橋: 1橋	築堤: 3,600m 護岸: 4,710m 道路橋: 3橋 樋門・樋管: 7基 床止: 5基 用地補償: 1式																	
事業費	21,079百万円	543百万円	8,777百万円																	
				<b>(2) 評価項目 [ 事業を巡る社会経済情勢等の変化 ]</b>																
				(今回の再評価で変更がある場合、変更事項を説明するために必要な内容)																
				地域・住民の意向状況 なし																
				産業・経済情勢 なし																
				国等の方針変更 なし																
				上位計画・関連事業計画等の変更 なし																
				自然環境条件等の変化 なし																
				その他 なし																
				<b>(3) 評価項目 [ 再評価時点の費用対効果分析 ]</b>																
				<ul style="list-style-type: none"> <li>平成2年度事業採択時計画における事業全体B/C 未算出</li> <li>平成11年度再評価時計画における事業全体B/C 便益(B)/費用(C) = 7.1</li> <li>平成16年度再評価時計画における事業全体B/C 便益(B)231,635百万円/費用(C)29,518百万円 = 7.8</li> <li>平成22年度再評価時計画における事業全体B/C 便益(B)196,273百万円/費用(C)40,596百万円 = 4.8</li> <li>平成27年度再評価時計画における事業全体B/C 便益(B)243,066百万円/費用(C)47,471百万円 = 5.1 (国土交通省治水経済調査マニュアル(案)により算出 採択基準値1.0以上) B:便益 C:費用</li> </ul>																

## 2. 再評価調書

### (4) 評価項目 [ 事業の進捗状況及び見込み ]

#### これまでの計画変更等の概要

(平成16年度再評価)

用地補償費等の増加により、総事業費を変更した。

(事業費) 11,559百万円の増

(平成22年度再評価)

J R身延線今川橋梁の架替及び工事発生土砂の運搬処理費用の増加により、総事業費を変更するとともに工期を平成38年まで延期した。

(事業費) 6,440百万円の増

(事業期間) 13年延長

#### 施工済みの事業内容 ( (1) 「全体計画」に記載した内容と比較 )

	現計画 平成26年度迄	実施 平成26年度迄
工事内容	築堤：3,300m	築堤：3,332m
	護岸：2,440m	護岸：2,423m
	道路橋：4橋	道路橋：4橋
	樋門・樋管：4基	樋門・樋管：4基
	床止：1基	床止：1基
	用地補償：1式	用地補償：1式
	測量設計：1式	測量設計：1式

#### 進捗率 ( 現計画に対する実績 )

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
計画	58%	61%	63%	66%	69%	71%	72%	73%	74%
実績	58%	61%	64%	67%	69%	71%			

	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度	平成36年度	平成37年度	平成38年度
計画	78%	82%	85%	88%	91%	94%	97%	100%
実績								

\* 再評価実施年度

平成27年度の実績は見込み

	算出方法
計画	計画事業費/総事業費 × 100
実績	実施事業費/総事業費 × 100

#### 事業の進捗が順調でない理由

計画とおり進捗

#### 今後の事業執行上の問題点

なし

#### 今後の事業の進捗の見込み ( 計画期間について記載 )

予定とおり平成38年度完了の見込みである。

#### 事業計画の変更の見込み・可能性 ( 総事業費について記載 )

なし

### (5) 評価項目 [ 環境への配慮 ]

魚類等の生息環境の保全を図るため、現地の環境や自然との調和を図った生態系に配慮した河道整備を実施している。

### (6) 評価項目 [ コスト縮減の可能性 ]

なし

### (7) 評価項目 [ 代替案立案の可能性 ]

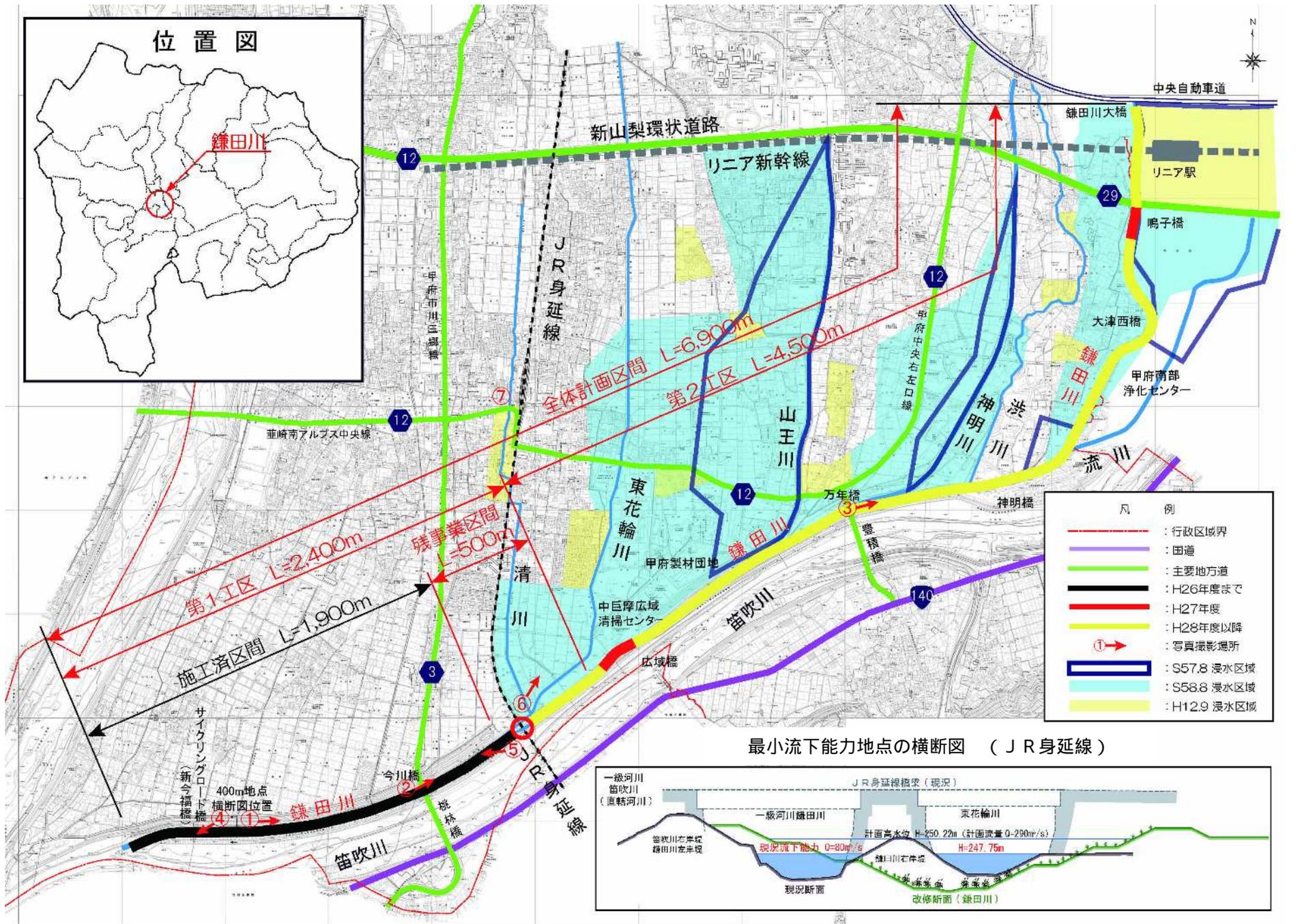
なし

### (8) 所管部の今後の方針 ( 継続 ) ・ 見直し継続 ・ その他 ( )

(理由)

浸水被害解消のため、計画とおり進捗していることから事業を継続し、平成38年度の完成を目指す。

### 3. 添付資料シート(1)



添付資料シート(2)

現況等写真(改修前・改修後)

写真  
事業着手時(改修前)

サイクリングロード橋上流地点(下流端から約400m地点)

事業着手時(改修後)



現況等写真

写真 JR今川橋梁工事の様子(現在改修中)



写真 万年橋から上流の様子(現況:改修前)



添付資料シート(3)

平成12年9月洪水出水状況

写真 笛吹川合流点付近



写真 J R身延線下流より今川橋



写真 J R身延線より東側地区



写真 J R身延線東花輪駅

